

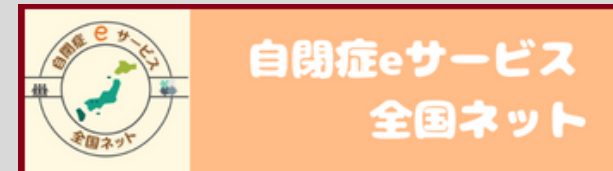


新しいアセスメントツール

現場アセスメントキット


自閉症 e サービス全国ネット（2026年度）

※今回紹介する写真には、一部、評価キットのものがあります



現場アセスメントキットの概要

- これまで自閉症 e サービスが提供してきた「評価キット」をもとに、より現場の実情とニーズに対応する「現場アセスメントキット」を開発した
- インフォーマルアセスメントのキットとして、支援現場で使用することを想定している
- 2026年6月にA1シリーズを販売し、年内に、順次A2/A3を発表していく
- 2027年にB1/B2/B3シリーズを改定する



現在の評価キット	販売予定	現場アセスメントキット
A1+D&L	2026.6	A1-base A1-practice
A2+D&L	2026.秋	A2-base A2-practice
A3	2026.冬	A3-base A3-practice
B1/B2/B3	2027 春～夏	B1/B2/B3の base/practice

A1の改定ポイント

- 現評価キットの課題（材料）を有効活用する
 - 評価キットを保有済みの場合は、「追加セット」を購入すれば対応できる
- baseとpracticeの2種類
 - base⇒認知レベルと基本スキルを確認する
 - practice⇒実際の生活場面の組立に必要な情報を確認する
- 現場でいつでもアセスメントできるよう、各評価項目は個々に単独でも実施できる
 - 各評価項目の実施手続きと評定基準は簡素化し、より柔軟に取り扱える
 - スキル・学習スタイルを幅広く評価できる

現場アセスメントキットA1	追加セット 現評価キットをお持ちの方	フルセット 新規購入の方
A1-base	5,000円	35,000円
A1-practice	5,000円	35,000円
解説動画 全2本（別売）	年間パスあり 年間パスなし	3,000円/本 5,000円/本

実施マニュアルと記録用紙

- 各評価項目について、実施マニュアルと記録用紙が1枚にまとめられている
 - 評価者は、対象者に評価したい項目を、必要な部分のみ抜粋して使用できる
 - 実施マニュアル（＝手続き）は一般的なやり方が記載されているが、対象者に合わせてより柔軟に実施することが期待されている
 - 評価者は、実施マニュアルを確認しながら、その場で実施し、記録できる
 - 評価点だけでなく、実施場面で観察した具体的なスキルや学習スタイルを記録することもできる

領域<コミュニケーション> 課題#1「挨拶」		実施日： 年 月 日
対象者： 評価者：		
実施内容と評価点		実施記録と示唆、支援のアイデア
<ul style="list-style-type: none">材料<ul style="list-style-type: none">「わかりません」「教えてください」の文字(または絵)カード手続き<ol style="list-style-type: none">待機中や作業机に座ったタイミングで、「〇〇さん、こんにちは、私は〇〇です」と評価者のほうから挨拶し、本人の応答の様子を確認する。作業机に着座後、「今日はいろんな課題に取り組んでもらいます」と伝え、「わからないときは、このカードで伝えてください」と本人の前に「わかりません」などのカードを置く。「〇〇さん、最初に握手をしましょう」と伝え、本人のほうから握手をするか確認する。本人が自発的に握手をしないときは、評価者のほうから手を出し、もう一度「握手をしましょう」と伝え、本人の態る真意を確認する。評価点<ul style="list-style-type: none">0点:①と③について、適切に答える(応じる)ことができる。1点:①と③について、それなりに答える(応じる)があいまいな応答であったりして、わかりにくいことがある。2点:①と③について答える(応じる)が、かなり不自然である。3点:①と③のどちらも答えることができない。質問に対し強く拒否する。		<ul style="list-style-type: none">取り組み時の様子(特に学習スタイルに関すること)スキル(技術的にできること、できそうなこと、難しかったこと)<ul style="list-style-type: none">合格のスキル:習得のスキル:不合格のスキル:課題に関する興味関心、学習態度<ul style="list-style-type: none"><input type="checkbox"/>強くあり <input type="checkbox"/>ふつう <input type="checkbox"/>嫌がる・好きそうではないその他、気づいたこと・特記事項支援のアイデア(適した課題・活動の内容、教え方の工夫など)

評価点と記録の取り方

- 評価点0点は、社会的に許容できる「適切」で「自立」した取り組みであることを意味する
- 評価点の点数が増えるほど手厚い支援・配慮が必要なことを示唆する
- 実施記録欄には、客観的な行動を記録する。主観的な感想や解釈は、「○○と思った／捉えた」などと記載し、根拠となる実際の客観的な行動と合わせて記述するようにする
 - 例)「Aの課題が出されると本人から自発的な笑顔が見られ、とても前向きに自立的に課題に取り組んでいた。そのため、この課題は特に本人が好きな課題ではないかと評価者は捉えた」
- 本人が課題にうまく取り組めない場合、技能的に難しいのか、あるいは課題の意味を理解できていなかったり、感覚過敏や不安が強くて取り組めなかったのかなど、その理由・事情を考察する必要がある

領域<認知> 課題#2「名前の理解」		実施日： 年 月 日
対象者：	評価者：	
実施内容と評価点	実施記録と示唆、支援のアイデア	
<ul style="list-style-type: none">• 材料<ul style="list-style-type: none">• 白紙と鉛筆・消しゴム• 手続き<ol style="list-style-type: none">① 封筒に座って「お名前を教えてください」と聞き、本人の返事の様子を確認する。② 次に、口頭での返事の有用にかかわらず、「ここに名前を書いてください」と伝え、紙と鉛筆を本人に渡す。③ 「お名前を教えてください」と再度質問する。本人が答えない場合は、本人の名前と別の名前の2種を紙に書いて示し、「○○さんの名前はどれですか？」と質問し、本人に選んでもらう。• 補足の課題<ul style="list-style-type: none">• 「何歳ですか？」「誕生日はいつですか？」「好きな食べ物は何ですか？」など、本人のことを質問する。口頭でも紙に書いてもらっても構わない。• 評価点<ul style="list-style-type: none">• 0点:①②に適切に答えることができる。• 1点:①②③のうち2つについて適切に答えることができる。• 2点:①②③のうち1つのみ適切に答えることができる。• 3点:①②③のどれも適切に答えることができない。質問に対し強く拒否する。	<ul style="list-style-type: none">• 取り組み時の様子(特に学習スタイルに関すること)• スキル(技能的にできること、できそうなこと、難しかったこと)<ul style="list-style-type: none">• 合格のスキル:• 習生えのスキル:• 不合格のスキル:• 課題に関する興味関心、学習態度<ul style="list-style-type: none"><input type="checkbox"/>強くあり <input type="checkbox"/>ふつう <input type="checkbox"/>嫌がる・好きそうではない• その他、気づいたこと・特記事項• 支援のアイデア(適した課題・活動の内容、教え方の工夫など)	

A1-baseのねらいと内容

- 対象は、青年・成人期の重度知的障害を伴う自閉症の人
- 現場においてインフォーマルアセスメントを実施するためのキット（25項目、フルセットで約70分）
- 療育手帳A判定や強度行動障害の状態にある当事者に実施可能な内容
- **A1-baseは、主に、当事者の認知とコミュニケーションの特徴を確認し、本人が理解できる伝え方や構造化のための基本情報を提供する**
- A1-baseに引き続き、practiceキットが用意されており、こちらは主に職業/学習、家事、余暇活動等の日々の活動の組立てに必要なアセスメント情報を得ることができる

時間	スケジュールの提示例	課題No
15分	あいさつ（+勉強/作業）	No1～7
5分	休憩	No8
15分	勉強/作業	No10～15
5分	休憩	No16
5分	トイレ、手洗い	No17
15分	おやつ（+お話）、片付け	No18～22
10分	休憩 （+関係者への聞き取り）	No23～25
	さようなら/家に帰る	

※一般的な流れ／抜粋して一部実施も可

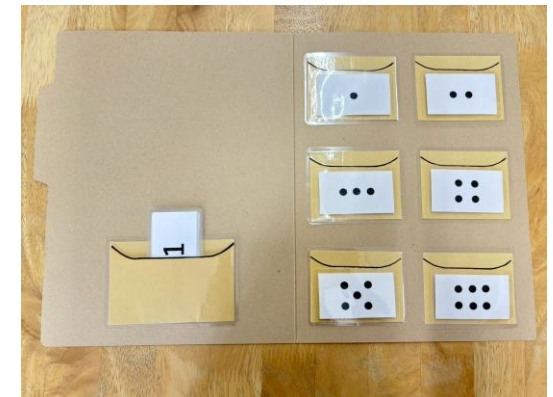
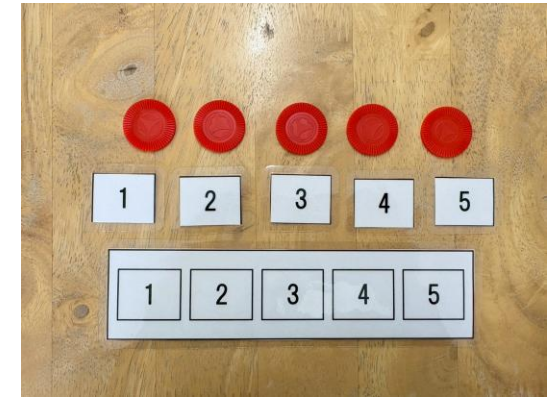
A1-baseの評価項目

No	領域	評価課題	評価点0~4
1	コミュニケーション	挨拶	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
2	認知	名前の理解	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
3	認知	実物と写真の理解	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
4	認知	色と形の理解	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
5	認知	数字と数の理解	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
6	認知	あいうえおの理解	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
7	認知	文字と絵の理解	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
8	認知	活動の選択と移動	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
9	余暇	休憩の過ごし方①	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
10	認知	スケジュールの使用	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
11	学習/職業	プットイン課題と1種の作業	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
12	学習/職業	3種の自立課題とワークシステム	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
13	認知	時計の理解	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>

No	領域	評価課題	評価点0~4
14	認知	カレンダーの理解	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
15	認知	お金の理解	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
16	余暇	休憩の過ごし方②	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
17	身辺自立・家事	トイレ・手洗い	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
18	身辺自立・家事	おやつの準備	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
19	身辺自立・家事	おやつとおやつの片づけ	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
20	コミュニケーション	簡単な会話と言語指示	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
21	コミュニケーション	簡単な絵の説明	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
22	コミュニケーション	片付け（指示の理解）	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
23	余暇	休憩の過ごし方③	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
24	その他	環境への反応	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
25	その他	関係者への聞き取り	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>

A1-baseの評価項目（例示）

領域<認知> 課題#5「数字と数の理解」		実施日： 年 月 日
対象者：	評価者：	
実施内容と評価点		実施記録と示唆、支援のアイデア
<ul style="list-style-type: none"> ・材料 <ul style="list-style-type: none"> ・ 同じ色の色チップ(5枚)、数字カード5種(1, 2, 3, 4, 5)、数字ボード(1~5) ・手続き <p>①5種の数字カードをランダムに並べ、評価者が指さして示し「これは何ですか？」と2回質問する。そのあと「3は何ですか？」「5は何ですか？」など2回質問し、本人に指さして答えさせる。</p> <p>②次に、「1~5の順番に数字を並べてください」と本人に伝える。本人が口頭の指示で理解できなかったり間違えて並べたりした場合は、評価者が「1, 2はこの順番に並べます」と実際に並べ、残り3種の数字カードについて本人が正しく並べられるかどうかを観察する。</p> <p>③続いて、色チップを本人に渡して、「この数字と同じ数のチップを書いてください」と伝え、「3」の数字カードを本人の前に出す。本人が理解できなかったり間違えて並べる場合、評価者が数字カード「3」に色チップ3枚を書いて見せ、「数字の3だから3枚書きます」と説明する。その後2回別の数字カードを使って本人に取り組んでもらう。本人が間違えても途中修正はしない。</p> ・補足の課題 <ul style="list-style-type: none"> ・ 数字ボードを本人に渡して、「ここに同じ数字カードを書いてください」と伝え、マッチングができるかどうか観察する。 ・ 数字とドットのマッチングのフォルダー課題に取り組み。 ・評価点 <ul style="list-style-type: none"> ・ 0点:評価者の特定の指示の有無にかかわらず、①~③すべて適切に取り組み。 ・ 1点:①②③について1~2つ間違いがある。うまくできない。 ・ 2点:①②③について3~4つ間違いがある。うまくできない。 ・ 3点:5つ以上間違いがある。課題に対し強く拒否する。材料をかなり不適切に取り扱う。 		<ul style="list-style-type: none"> ・ 取り組み時の様子(特に学習スタイルに関すること) ・ スキル(技能的にできること、できそうなこと、楽しかったこと) <ul style="list-style-type: none"> ・ 合格のスキル: ・ 習得のスキル: ・ 不合格のスキル: ・ 課題に関する興味関心、学習態度 <p><input type="checkbox"/>強くあり <input type="checkbox"/>ふつう <input type="checkbox"/>嫌がる・好きそうではない</p> ・ その他、気づいたこと・特記事項 ・ 支援のアイデア(適した課題・活動の内容、教え方の工夫など)



A1-baseの評価項目（例示）

領域<認知>

課題#7「文字と絵の理解」

実施日： 年 月 日

対象者：

評価者：

実施内容と評価点

・材料

- ・「りんご」などの名称の文字カードと絵カード(各3種)、「はしる」などの動詞の文字カードと絵カード(各3種)

・手続き

- ①「りんご」などの名称の文字カード3枚を並べ、カードを1つ指さして「これを選んでください」と本人に2回聞く。そのあと、「りんご」はどれですか?」など聞いて、本人が指さしなどで答えられるか2回確認する。本人が口頭で理解できなかったり間違えて答えたりした場合は、評価者が「りんご」はこれです」と実際に示してから、その後本人に取り繕ってもらおう。
- ②次に、名称の絵カードを3枚並べ、①と同じように取り繕む。
- ③次に、名称の絵カードを3枚並べ、文字カードを本人に手渡しして、「同じところに置いてください」と本人に伝える。本人が間違えても途中修正はしない。

・補足の課題

- ・動詞カードについても、①～③の手続きで実施する。

・評価点

- ・0点:評価者の所定の指示の有無にかかわらず、①～③すべて適切に取り繕む。
- ・1点:①②③について1～2つ間違いがある。うまくできない。
- ・2点:①②③について3～4つ間違いがある。うまくできない。
- ・3点:5つ以上間違いがある。課題に対し強く拒否する。材料をかなり不適切に取り扱う。

実施記録と示唆、支援のアイデア

・取り組み時の様子(特に学習スタイルに関すること)

・スキル(技能的にできること、できそうなこと、難しかったこと)

・合格のスキル:

・習得のスキル:

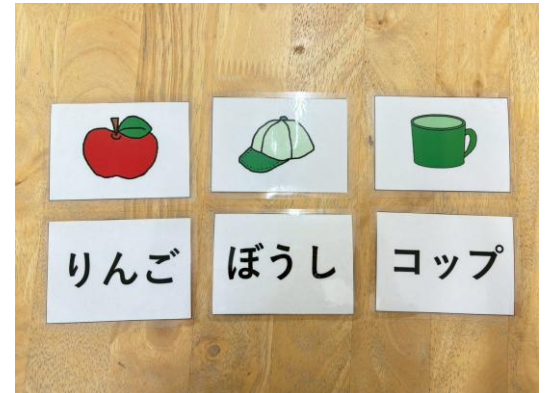
・不合格のスキル:

・課題に関する興味関心、学習態度

強くあり ふつう 嫌がる・好きそうではない

・その他、気づいたこと・特記事項

・支援のアイデア(適した課題・活動の内容、教え方の工夫など)



A1-baseの評価項目（例示）

領域<認知>

課題#10「スケジュールの使用」

実施日： 年 月 日

対象者：

評価者：

実施内容と評価点

・材料

- ・スケジュールボード、スケジュールの絵カード(5～10種)、または実物の手がかり(5種)
- ・実物の手がかりを使用する場合は、現地で用意する(キットには含まれていない)

・手続き

- ①これまでの評価情報及び支援現場で使用しているスケジュールを基に、評価時のスケジュールを下記の活動の順番で設定し、トランジションエリアに設定するか持ち運び式とする。
<勉強/作業⇒休憩⇒トイレ⇒手洗い⇒おやつ⇒お話し⇒休憩>
- ②本人が勉強/作業エリアに戻ってきたら、「これからはこの順番で活動します。予定をよく確認してください」と伝え、設定したスケジュールを本人に提示する。または「これが終わったら次は休憩です」と実物の手がかりを本人の机の横に置いておく。
- ③勉強/作業が終わったタイミングで、スケジュール(または実物の手がかり)を示し、「次は休憩です」と再度本人に伝え、休憩エリアに移動する。その後は、本人が自立してスケジュールを使えるかどうかを観察する。

・補足の課題

- ・本人が今回のスケジュールを理解し、概ね使えている場合は、スケジュールを使って途中で活動の変更や追加を示す。

・評価点

- ・0点:スケジュールを理解し、概ね自立してスケジュールを使って行動する(手助けは1回以下)。
- ・1点:スケジュールを理解しているが、スケジュールの使用には2～3回手助けが必要である。
- ・2点:次の活動について、その都度スケジュールカードや実物を本人に手渡して口頭で伝えれば、次の活動にスムーズに移行できる。
- ・3点:スケジュールを理解できない、課題に対し強く拒否する、材料をかなり不適切に取り扱う。

実施記録と示唆、支援のアイデア

・取り組み時の様子(特に学習スタイルに関すること)

・スキル(技能的にできること、できそうなこと、難しかったこと)

- ・合格のスキル:
- ・習得のスキル:
- ・不合格のスキル:

・課題に関する興味関心、学習態度

強くあり ふつう 嫌がる・好きそうではない

・その他、気づいたこと・特記事項

・支援のアイデア(適した課題・活動の内容、教え方の工夫など)



A1-baseの評価項目（例示）

領域<認知>

課題#13 「時計の理解」

実施日： 年 月 日

対象者：

評価者：

実施内容と評価点

・材料

・アナログ時計、デジタル時計、時間カード(5種)、時計のフォルダー課題、白紙と鉛筆・消しゴム

・手続き

①本人にアナログ時計を見せて、下記の順番で「何時ですか?」と時間を聞く。口頭で発言できない場合は、時間カードをランダムに並べ、そこから選んでもらう(その都度、時計カードはもとに戻す)

2:20 3:00 5:30 7:00 10:45

②次に、本人にデジタル時計を見せて、今の時間を答えてもらう。口頭で発言できない場合は、その時間表示を見て、本人に紙に書いてもらう。

・補足の課題

・時計のフォルダー課題に取り組む。

・①②が合格であれば、アナログ時計またはデジタル時計を手がかりに、評価時スケジュールに時間表示を追加する「3:00 おやつ」など。

・評価点

・0点:①②の質問についてすべて適切に回答することができる。

・1点:①②の質問について1つ間違っている。

・2点:①②の質問について2つ間違っている。

・3点:①②の質問について3つ以上間違っている。課題に対し強く怒る、材料をかなり不適切に取り扱う。

実施記録と示唆、支援のアイデア

・取り組み時の様子(特に学習スタイルに関する事)

・スキル(技能的にできること、できそうなこと、難しかったこと)

・合格のスキル:

・習得のスキル:

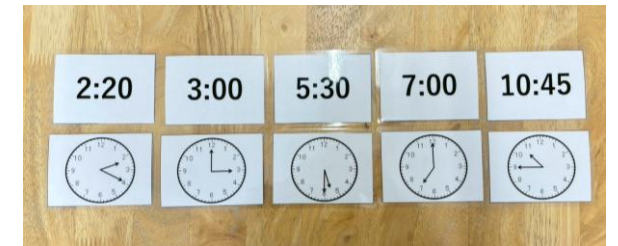
・不合格のスキル:

・課題に関する興味関心、学習態度

強くあり ふつう 嫌がる・好きそうではない

・その他、気づいたこと・特記事項

・支援のアイデア(適した課題・活動の内容、教え方の工夫など)



A1-baseの評価項目（例示）

領域＜身边自立・家事＞
課題#18 「おやつ準備」

実施日： 年 月 日

対象者： 評価者：

実施内容と評価点

- ・材料
 - ・トレイ・コップ・お皿(2セット)
 - ・お菓子・飲み物(ジュース等)(各3種)
- ・手続き
 - ①スケジュールを確認して、＜手洗い⇒おやつ＞に移行する。
 - ②「おやつ準備をしてください」と本人に伝え、本人と評価者の食卓に、トレイを置き、コップ・お皿をセットするように促す。本人が指示を理解できなかったりやり方がわからない場合は、1つ目のセットを評価者がおこない、それを見せて2つ目のセットを本人がおこなうようにする。
 - ③お菓子をお皿に置いたり飲み物の準備は検査者がおこなう(または既定の課題として本人がおこなってもらう)
- ・既定の課題
 - ・「お菓子を2つお皿に置いてください」コップにジュースを入れてくださいなどと追加で指示する。
- ・評価点
 - ・0点:②について、どれも自立して適切に取り組むことができる。
 - ・1点:②について、1つが2つ手助けが必要だが、ほぼ適切におやつ準備ができる。
 - ・2点:②について、何かが手助けが必要だった。または、おやつ準備についていくつか不適切な様子が見られる。
 - ・3点:①②について、適切に取り組めない。課題に対し強く拒否する。かなり不適切な様子である。

実施記録と示唆、支援のアイデア

- ・取り組み時の様子(特に学習スタイルに関すること)
- ・スキル(技能的にできること、できそうなこと、難しかったこと)
 - ・合格のスキル:
 - ・習得のスキル:
 - ・不合格のスキル:
- ・課題に関する興味関心、学習態度
 - 強くあり □ふつう □嫌がる・好きそうではない
- ・その他、気づいたこと・特記事項
- ・支援のアイデア(適した課題・活動の内容、教え方の工夫など)



A1-baseの評価項目（例示）

領域<コミュニケーション>
課題#20「簡単な会話と言語指示」

実施日： 年 月 日

対象者：

評価者：

実施内容と評価点

- ・材料
 - ・ 蓋つきの空箱、白紙(A4)、鉛筆2本、キャップ2つ、消しゴム
- ・手続き

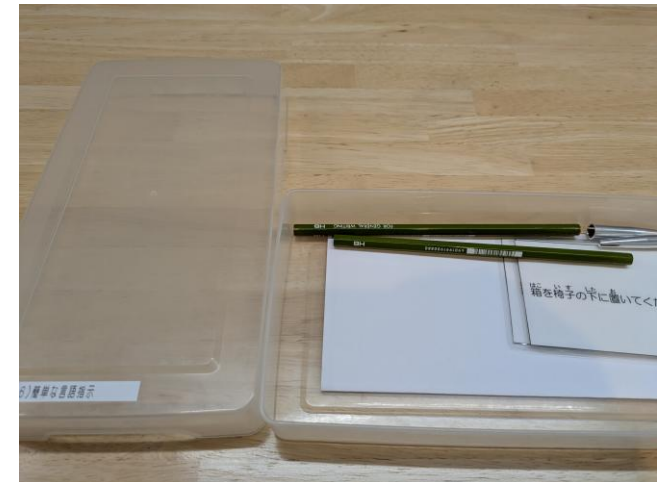
①おやつ終了後スケジュールを確認し「お話をしましょう」と伝え、本人と評価者が対面で見合わせる。「今日はどこから来ましたか?」「今日の感想を教えてください」「明日の予定は?」などをテーマに本人と話をします。

②次に、空箱・白紙・えんぴつ2本・キャップ2つ・消しゴムを準備、本人に「これからいくつか質問するので、それをおこなってください」と伝える。下記の順番で口頭で質問をする。本人がうまく取り解めないときは、もう一度同じ内容について、口頭と指さし・ジェスチャーで伝える。1つの質問が終わると、使った材料は元に戻すようにする。

1)「キャップはどれですか?」 2)「えんぴつにキャップをつけてください」
3)「紙を半分に折ってください」 4)「箱の中に消しゴムを入れてください」
5)「箱の上にえんぴつを置いてください」 6)「箱を椅子の下においてください」
- ・補足の課題
 - ・ 「椅子の上に乗ってください」「右手を上げてください」などと指示する。
- ・評価点
 - ・ 0点:①について1つ以上適切に答える。かつ、②について口頭のみで5つ以上適切に取り解む。
 - ・ 1点:②について口頭のみで4つ適切に取り解む。
 - ・ 2点:②について口頭のみで3つ適切に取り解む。
 - ・ 3点:②について指さし・ジェスチャーがあっても2つ以下しか適切に取り解めない。課題に対し強く拒否する。材料をかなり不適切に取り扱う。

実施記録と示唆、支援のアイデア

- ・ 取り組み時の様子(特に学習スタイルに関すること)
- ・ スキル(技能的にできること、できそうなこと、難しかったこと)
 - ・ 合格のスキル:
 - ・ 習得のスキル:
 - ・ 不合格のスキル:
- ・ 課題に関する興味関心、学習態度
 - 強くあり □ふつう □嫌がる・好きそうではない
- ・ その他、気づいたこと・特記事項
- ・ 支援のアイデア(適した課題・活動の内容、教え方の工夫など)



A1-practiceのねらいと内容

- 対象は、青年・成人期の重度知的障害を伴う自閉症の人
- 現場においてインフォーマルアセスメントを実施するためのキット（25項目、フルセットで約85分）
- 療育手帳A判定や強度行動障害の状態にある当事者に実施可能な内容
- **A1-practiceでは、主に学習/職業、家事、余暇活動等の日々の活動の組立てに必要なアセスメント情報を得る**
- A1-baseや他のアセスメントツール、家族・関係者からの聞き取り等を通して、より総合的なアセスメント情報を得て、具体的な支援プランの作成・実施につなげる

時間	スケジュールの提示例	課題No
10分	あいさつ（+勉強/作業）	No25～28
5分	休憩	No29
10分	勉強/作業	No30～32
5分	洗濯物	No33～34
15分	買い物	No35～36
15分	手洗い、調理とおやつ	No37～40
5分	休憩	No41
15分	ゲームと運動、片付け	No42～45
10分	休憩（関係者に聞き取り）	No46～48
	さようなら/帰宅	

※一般的な流れ／抜粋して一部実施も可

A1-practiceの評価項目

No	領域	評価課題	評価点0~4
26	コミュニケーション	挨拶と活動場所の案内	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
27	認知	スケジュールの使用	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
28	学習/職業	3種の1:1課題	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
29	学習/職業	2種の1:1課題と1種の作業	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
30	余暇	ジグソーパズル	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
31	余暇	休憩の過ごし方①	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
32	学習/職業	流れ作業と中断・追加	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
33	コミュニケーション	お遣い（材料の要求）	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
34	学習/職業	数数え	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
35	身辺自立・家事	洗濯物たたみ	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
36	身辺自立・家事	洗濯物の収納	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
37	身辺自立・家事	買い物の準備と実施	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
38	身辺自立・家事	買った物と残金・レシートの確認	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>

No	領域	評価課題	評価点0~4
39	身辺自立・家事	手洗い	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
40	身辺自立・家事	おやつの準備（ジグシートの使用）	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
41	身辺自立・家事	簡単な調理	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
42	身辺自立・家事	おやつとおやつの片づけ	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
43	余暇	休憩の過ごし方②	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
44	余暇	トランプゲーム	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
45	余暇	キャッチボールとボール入れ	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
46	余暇	リラックスタイム	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
47	コミュニケーション	片付け（指示の理解）	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
48	余暇	休憩の過ごし方③	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
49	その他	環境への反応	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
50	その他	関係者への聞き取り	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>

A1-practiceの評価項目 (例示)

領域<学習/職業>

課題#29 「2種の1:1課題と1種の作業」

実施日: 年 月 日

対象者:

評価者:

実施内容と評価点

・材料

- ・ドライバーによる分解作業、簡単な計算問題
- ・本人がふだんおこなっている作業(あるいは現場で試したい作業)1種
- ・終了箱
- ・それぞれを課題カゴに入れ、材料・容器・視覚的手がかりは見本写真の通りに組織化しておく。

・手続き

- ①1つ目の課題(ドライバーによる分解作業)を本人に渡し、課題に取り組んでもらい、本人の右側にある終了箱に片づけるように促す。
- ②2つ目以降の課題カゴは、本人の左側に積み上げておくか、横に上から下の順番に並べておく。1つ目の課題に続けて、本人または評価者が2つ目以降の課題をその都度取り出して、課題に取り組んでもらうようにする。ふだんおこなっている(あるいは現場で試したい)作業1種は最後に実施する。
- ③各課題は、最初に評価者が実演でやり方を示し、そのあとに本人に取り組んでもらう。その後も本人が自立して取り組めないときや間違えているときは、その都度手助けする。

・補足の課題

- ・絵カードのマッチングなどのワークシステムを使って、より自立的に課題に取り組めるようにする。

・評価点

- ・0点:①②の課題についてすべて適切に自立して取り組むことができる。
- ・1点:①②の課題に取り組むにあたって1、2回手助けが必要である。
- ・2点:①②の課題に取り組むにあたって3、4回手助けが必要である。
- ・3点:①②の課題に取り組むにあたって5回以上手助けが必要である。課題に対し強く拒否する、材料をかなり不適切に取り扱う。

実施記録と示唆、支援のアイデア

・本人の様子

・合格のスキル:

・芽生えのスキル:

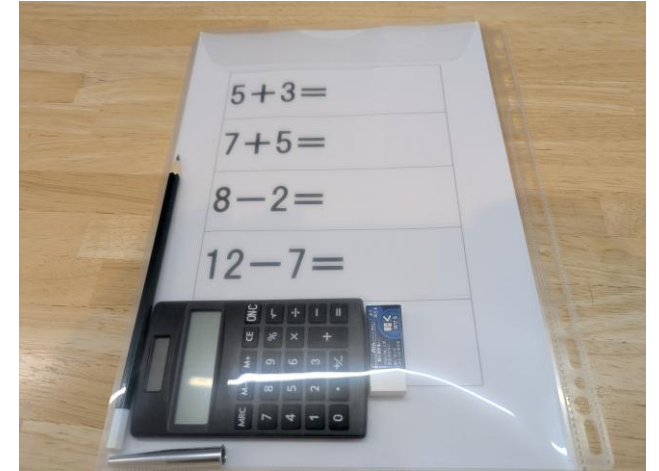
・不合格のスキル:

・興味関心: 強くあり ふつう 嫌がる・好きそうではない

・取り組み時の特徴(特に学習スタイルに関すること):

・その他、気づいたこと・特記事項

・支援のアイデア(適した課題・活動の内容、教え方の工夫など)



A1-practiceの評価項目 (例示)

領域<コミュニケーション>
課題#20 「簡単な会話と言語指示」

実施日: 年 月 日

対象者: 評価者:

実施内容と評価点

- ・材料
 - ・ 蓋つきの空箱、白紙(A4)、鉛筆2本、キャップ2つ、消しゴム
- ・手続き

①おやつ終了後スケジュールを確認し「お話をしましょう」と伝え、本人と評価者が対面で見合わせる。「今日はどこから来ましたか?」「今日の感想を教えてください」「明日の予定は?」などをテーマに本人と話をします。

②次に、空箱・白紙・えんぴつ2本・キャップ2つ・消しゴムを並べ、本人に「これからいくつか質問するので、それをおこなってください」と伝える。下記の順番で口頭で質問をする。本人がうまく取り絡めないときは、もう一度同じ内容について、口頭と指さし・ジェスチャーで伝える。1つの質問が終わると、使った材料は元に戻すようにする。

1)「キャップはどれですか?」 2)「えんぴつにキャップをつけてください」
3)「紙を半分折ってください」 4)「箱の中に消しゴムを入れてください」
5)「箱の上にえんぴつを置いてください」 6)「箱を椅子の下においてください」
- ・補足の課題
 - ・ 「椅子の上に乗ってください」「右手を上げてください」などと指示する。
- ・評価点
 - ・ 0点:①について1つ以上適切に答える。かつ、②について口頭のみで5つ以上適切に取り絡む。
 - ・ 1点:②について口頭のみで4つ適切に取り絡む。
 - ・ 2点:②について口頭のみで3つ適切に取り絡む。
 - ・ 3点:②について指さし・ジェスチャーがあっても2つ以下しか適切に取り絡めない。課題に対し強く拒否する。材料をかなり不適切に取り扱う。

実施記録と示唆、支援のアイデア

- ・ 取り組み時の様子(特に学習スタイルに関すること)
- ・ スキル(技能的にできること、できそうなこと、難しかったこと)
 - ・ 合格のスキル:
 - ・ 習得のスキル:
 - ・ 不合格のスキル:
- ・ 課題に関する興味関心、学習態度
 - 強くあり □ふつう □嫌がる・好きそうではない
- ・ その他、気づいたこと・特記事項
- ・ 支援のアイデア(適した課題・活動の内容、教え方の工夫など)



A1-practiceの評価項目 (例示)

領域<学習/職業>
課題#34「数数え」

実施日: 年 月 日

対象者:

評価者:

実施内容と評価点

- ・材料
 - ・鉛筆(キャップはめ済み)10本、鉛筆のジグシート、「3」「5」の数字またはドットカード
- ・手続き
 - ①流れ作業終了後、完成品の鉛筆を確認し、完成品の数を数えるように伝える。
 - ②1について、本人が自立して取り組みないときは、5個を取り出し、本人の前に並べるようにする。そのうえで、指差しをしながら「数を数えてください」と再度伝える。
 - ③次に「3つください」「5つください」と手を出して2回質問し、本人が適切に手渡しできるかどうかを確認する。鉛筆はその都度、戻すようにする
- ・補足の課題
 - ・②のときに、所定のジグシートに鉛筆を置くように伝える。
 - ・③のときに、「3」「5」の数字またはドットカードを本人に見せて伝える。
- ・評価点
 - ・0点:①～③について、すべて適切に自立して取り組むことができる。
 - ・1点:①～③について、1、2回指示・手助けが必要である。
 - ・2点:①～③について、3、4回指示・手助けが必要である。
 - ・3点:①～③の課題に取り組むにあたって5回以上手助けが必要である。課題に対し強く拒否する、かなり不適切に振る舞う。

実施記録と示唆、支援のアイデア

- ・取り組み時の様子(特に学習スタイルに関すること)
- ・スキル(技能的にできること、できそうなこと、難しかったこと)
 - ・合格のスキル:
 - ・芽生えのスキル:
 - ・不合格のスキル:
- ・課題に関する興味関心、学習態度
 - 強くあり ふつう 嫌がる・好きそうではない
- ・その他、気づいたこと・特記事項
- ・支援のアイデア(適した課題・活動の内容、教え方の工夫など)



A1-practiceの評価項目（例示）

領域<身辺自立/家事> 課題#37「買い物の準備と実施」		実施日： 年 月 日
対象者：	評価者：	
実施内容と評価点	実施記録と示唆、支援のアイデア	
<ul style="list-style-type: none">・材料<ul style="list-style-type: none">・ 買い物セット(500円玉×1枚と10円玉×5枚、財布/ジブロック)・ 商品の写真と店の写真の買い物セット、キッチンタイマー・手続き<ol style="list-style-type: none">①勉強/作業机に座ってもらい、買い物セットを本人に渡して、「これから買い物に行きます。〇〇に行きます。〇〇と〇〇を買ってきてください」と本人に口頭と指差して伝える。②スケジュールの「買い物」の提示と、「タイマーが鳴ったら出発します」と伝えて、タイマーをセットして本人の手元に置く。③タイマーが鳴ったら買い物に出発する。評価者と一緒に店まで移動するようにする。④お店に着いたら、入口で再度買い物セットを本人に見せ、「では〇〇と〇〇を買ってきてください」と本人に買い物を促す(評価者は本人が自立して取り組みないときや間違ったときのみ、指示・手助けする)。・評価点<ul style="list-style-type: none">・ 0点:②~④について、すべて適切に自立して取り組むことができる。・ 1点:②~④について、1、2回指示・手助けが必要である。・ 2点:②~④について、3、4回指示・手助けが必要である。・ 3点:②~④について、5回以上手助けが必要である。課題に対し強く拒否する、かなり不適切に振る舞う。	<ul style="list-style-type: none">・ 取り組み時の様子(特に学習スタイルに関すること)・ スキル(技能的にできること、できそうなこと、難しかったこと)<ul style="list-style-type: none">・ 合格のスキル:・ 芽生えのスキル:・ 不合格のスキル:・ 課題に関する興味関心、学習態度<ul style="list-style-type: none"><input type="checkbox"/> 強くあり <input type="checkbox"/> ふつう <input type="checkbox"/> 嫌がる・好きそうではない・ その他、気づいたこと・特記事項・ 支援のアイデア(適した課題・活動の内容、教え方の工夫など)	



A1-practiceの評価項目 (例示)

領域<余暇> 課題#45 「キャッチボールとボール入れ」		実施日: 年 月 日
対象者:	評価者:	
実施内容と評価点		実施記録と示唆、支援のアイデア
<ul style="list-style-type: none"> ・材料 <ul style="list-style-type: none"> ・ ボール、足形シート ・ クッションボール小×10～14個、製氷皿(10～14区切り)、プットイン用のタッパー ・手続き <ol style="list-style-type: none"> ①スケジュールで「運動」に移行し、運動コーナーでボール運動をする。 ②足形シートで本人の立ち位置を決めて、本人とキャッチボールをする(5回程度)。 ③製氷皿のマスにクッションボールを1つずつ置き、5m程度先の壁またはテーブルにプットイン用のタッパーを置く。最初、評価者がボールを1つ取って、プットイン用タッパーに入れて見せる。次に2つ目のボールを本人に手渡しして「タッパーにボールを入れてください」と指示する。その後は一人で行って、なくなったら終わりとする。本人が自立して取り組めないときや間違った場所ボールを運ぶ場合は、その都度、指示・手助けをする。 ④全部のボールを入れ終わったら、トランジションカードを手渡ししてスケジュールに戻るようにする。 ・補足の課題 <ul style="list-style-type: none"> ・ 評価者が本人の対面に立って簡単な体操(屈伸や深呼吸など)をし、同じように体を動かすように伝える。 ・ 評価者と本人がペアとなって体を動かしてみる(ペアストレッチ) ・評価点 <ul style="list-style-type: none"> ・ 0点:②③について、すべて適切に自立して取り組むことができる。 ・ 1点:②③について、1、2回指示・手助けが必要である。 ・ 2点:②③について、3、4回指示・手助けが必要である。 ・ 3点:②③について、5回以上手助けが必要である。課題に対し強く拒否する、かなり不適切に振る舞う。 		<ul style="list-style-type: none"> ・ 取り組み時の様子(特に学習スタイルに関すること) ・ スキル(技能的にできること、できそうなこと、難しかったこと) <ul style="list-style-type: none"> ・ 合格のスキル: ・ 芽生えのスキル: ・ 不合格のスキル: ・ 課題に関する興味関心、学習態度 <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 強くあり <input type="checkbox"/> ふつう <input type="checkbox"/> 嫌がる・好きそうではない ・ その他、気づいたこと・特記事項 ・ 支援のアイデア(適した課題・活動の内容、教え方の工夫など)



評価から支援へ（1）

支援プラン
(1)構造化プラン

作成日: 年 月 日

対象者:

評価者:

構造化プラン

物理的整理統合	No	説明、留意点
スケジュール	No	説明、留意点

ワークシステム	No	説明、留意点
マテリアルS	No	説明、留意点

評価から支援へ（２）

支援プラン
(4)支援計画書

作成日： 年 月 日

対象者：

評価者：

支援計画書 1

目標	No	説明、留意点
実施項目・手立て		

支援計画書 2

目標	No	説明、留意点
実施項目・手立て		

評価から支援へ (3)

支援プラン
(5)課題となる行動

作成日: 年 月 日

対象者:

評価者:

課題となる行動1

観察された行動	No	説明、留意点
原因・理由		
期待される行動		
具体的な手立て		

課題となる行動2

観察された行動	No	説明、留意点
原因・理由		
期待される行動		
具体的な手立て		

現場アセスメントキットの可能性

- 本人のことをよく知るためのツール
- 「支援のための評価」を再確認する
 - 「評価のための評価」ではない
 - スコア（評価点）より、具体的なスキル・学習スタイル・興味関心を確認する
 - 評価をしながら支援を考える
- 現場の状況に合わせて柔軟に実施する
 - フルバージョン or 単回ごとの実施
 - 現場のニーズに合わせて、評価課題を組み合わせる（項目、場所、時間帯・・・）
 - 系統的なプロンプトの操作
 - 追加（補足）の課題
- 適切な環境調整
 - 落ち着いて過ごせる環境
 - ハイリスク場面の整理
- 適切な学習/職業課題の設定
 - 合格のスキル、芽生えのスキル
 - 興味関心、学習スタイル、本人・家族の希望
- 構造化のアイデア
 - スケジュール、ワークシステム、マテリアルストラクチャー、物理的整理統合
- コミュニケーション支援のアイデア
 - 理解/表現/やりとり
- 教授方法



「評価キット」から「現場アセスメントキット」へ



本人のことをよく知るためのツール



支援チーム・家族・関係者と共有する



支援のための評価⇒すぐに支援プログラムに移行する

まとめ

現場アセスメントキット（2026年度）



自閉症eサービス
全国ネット